

会 議 録

会議名	第2回 相模原市議会史編集会議	
開催日時	令和8年1月7日（水） 11時00分～11時45分	
開催場所	相模原市役所本庁舎2階 議会応接室2	
出席者	委員	4人（別紙 出欠席名簿のとおり）
	その他	0人
	議会局	4人（議会局次長、政策調査課総括副主幹、外4人）
資料	別添のとおり	
議事の記録	以下のとおり	
<p>1 開会</p> <p>2 議会史編さん事業の経過報告</p> <p>（1）明治大学との契約について</p> <p>（2）執筆に係る状況について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 議会史編さん事業説明会（10月25日）の実施報告</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 執筆の役割分担</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 執筆に係る資料提供</p> <p style="padding-left: 2em;">（1）及び（2）について、資料1～4に沿って議会局から一括して説明した。 以下、主な意見・質問等。</p> <p>≪（1）明治大学との契約について≫</p> <p>（江藤座長）契約期間は令和8年3月31日までとあるが、続くものなのか。</p> <p>⇒（政策調査課）単年度契約となっているが、議会史記述編の原稿完成まで、契約は更新していく。</p>		

(奥委員) 来年度も契約金額は300万円なのか。

⇒ (政策調査課) 今年度は約半年の契約期間で300万円としているので、来年度は600万円(1年間)で契約を行う。

⇒ (牛山副座長) 今回の契約は研究委託のため、研究費として使用する旨を関係者にも説明している。

≪ (2) 執筆に係る状況について ≫

(牛山副座長) 執筆分担については前田委員と調整後、編集会議委員にも情報提供する。

3 議題

(1) 『相模原市議会史 記述編』執筆要綱(案)について

ア 編集方針

資料5-1の執筆要綱(案)のうち「編集方針」について、議会局から説明後、委員と意見交換を行った。なお、資料5-2は現在作成中であるため、完成後、改めて編集会議にて確認する旨を説明した。

以下、主な意見・質問等。

(江藤座長) 策定の理由について、もう少し詳細に説明願いたい。

⇒ (政策調査課) 10月25日の事業説明会にて、佐藤元議長から、事実の羅列だけでなく人の動きや思いがわかるような議会史を編さんしてほしいという話があった。このことについて出席いただいた先生方にも共感いただいている状況である。議会局としても、この言葉を受けて、方針の1つ目(「相模原市の幸せの実現に努めた先人議員の活動をわかりやすく伝える議会史」)に入れ込んだ。

(江藤座長) この方針で(同説明会に出席した)牛山副座長は納得されているということでしょうか。

⇒ (牛山副座長) はい。何をもって「幸せ」か、各議員の主張もあるので、どう取り上げるか難しいところではあるが、意識していきたい。

(奥委員) 1つ目の方針は、「相模原市」ではなく「相模原市民」ではないか。市だと捉え方が変わってしまう。また、血の通った議会史にしたいという1つ目の方針内容と、4つ目の「公平性を確保して」という記載について、ここのバランスが難しいように感じる。4つ目の方針の「公平性」の後に「客観性」を付け加えるのはどうか。

◎奥委員の意見について、その他委員からも同意を得たため、上記内容を修正し、編集会議委員に修正後の方針について、確認をとるということとなった。

イ その他の内容

「編集方針」以外の執筆要綱（案）（資料5-1）について、議会局より説明後、委員と意見交換を行った。

以下、主な意見・質問等。

（前田委員）実際に書いていく中で課題が出てきて、執筆要綱も加筆・修正されていくものだと思う。資料5-2の用字用語は、何かを参考にしたのか。

⇒（政策調査課）編集に携わる職務を経験している職員を、今年度から政策調査課で採用している。その職員を中心に作成を行った。別の用字用語集などを参考にしたものではない。まだ議会局内でも確認中なので、原案が確定次第、編集会議委員に提供させていただく。

（江藤座長）各編（4年間ごと）のページ数は、いくつになるのか。

⇒（政策調査課）編全体では約285ページになる。そのうち、明治大学に研究・執筆を依頼している「活動経過（第1章）」と「市議会と市政（第2章）」の部分は225ページを想定している。記述編全体では、285ページ×5編（20年間）＝約1,450ページとなる。

（前田委員）今回から横書きとなるが、構成やサイズについては、既刊本と同じでよろしいか。

⇒（政策調査課）既刊本と同じように作成していく。

（江藤座長）記述編ⅠとⅡにおいて第8編まで縦書きで書いてあるものを読み進めて、記述編Ⅲの第9編から急に横書きになるのは違和感を覚える。しかし、今の状況を踏まえると横書きが妥当なのだろう。

（牛山副座長）背表紙等の装丁はどうしていくのか。

（前田委員）八王子市の市史を刊行した際はケースをつけず、執筆者や市政功労者にはケースに入れてお送りしている。

◎長崎市議会史が横書きで同様のサイズ（ケースあり）のため、参考に実物を見ていただき、装丁については、今後決めていくこととした。

◎「編集方針」以外の執筆要綱は、原案のとおり進めることで決定した。

(2)今後の編集会議の協議事項について

資料6に基づき議会局から説明をした。

以下、主な意見・質問等

(江藤座長) 編集会議としては、自治体政策経営研究所と議会局のチェック後の原稿を確認するということである。各編2人ずつの執筆者がいて、取りまとめなど調整が大変だと思われるので、牛山副座長をはじめとしてよろしくお願ひしたい。

◎資料6のとおり進めることで決定した。

4 その他

議会史編集委員の更新について(令和8年4月以降)

◎編集委員の委嘱について、令和8年4月1日～令和10年3月31日までの任期で更新することを、全委員からご了承いただいた。なお、本日欠席の隅河内委員には、再委嘱について、既にご了承いただいている。

《その他質問等》

(奥委員) 次の編集会議は原稿ができてから開催ということになるか。

⇒(政策調査課) おっしゃるとおりである。年に2回ほどの開催を想定している。

⇒(牛山副座長) 原稿の執筆は春休みや夏休みに集中して行われるようになると思う。10月25日の事業説明会では、議長経験者からお話を伺い、執筆者のみなさまにも相模原市について知っていただいた。今後、編集会議委員の先生方からもご助言をお願いしたい。

5 閉会

相模原市議会史編集会議委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	うしやま くにひこ 牛山 久仁彦	明治大学 政治経済学部教授	副座長	出席
2	えとう としあき 江藤 俊昭	大正大学 地域創生学部教授	座長	出席
3	おく まみ 奥 真美	東京都立大学 都市環境学部教授		出席
4	すみこうち つかさ 隅河内 司	田園調布学園大学 人間福祉学部教授		欠席
5	まえだ しげとう 前田 成東	東海大学 政治経済学部教授		出席

(氏名は50音順)